

検査ニュース

No.105

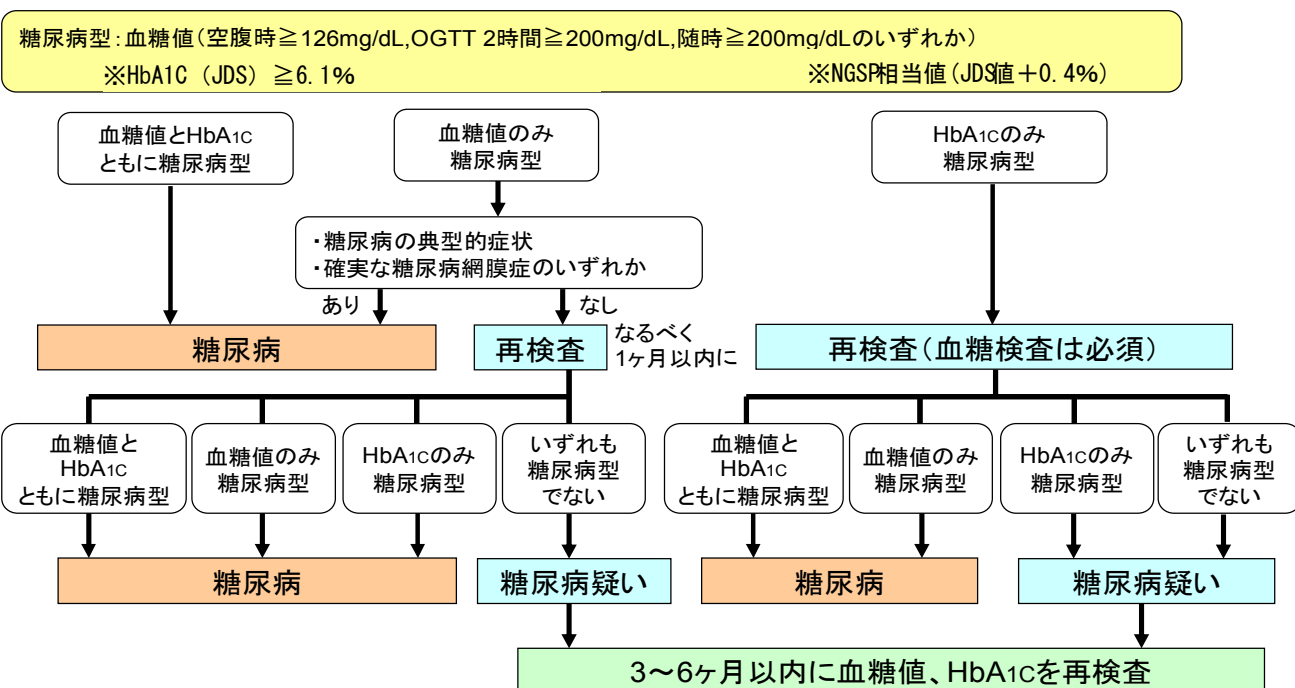
ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 このたび、第 53 回日本糖尿病学会年次学術集會中のシンポジウム 1「日本人糖尿病の診断基準をめぐって」において、糖尿病診断基準に関する調査検討委員会より糖尿病の新しい診断基準が発表されましたので、お知らせいたします。

佐賀県医師会成人病予防センター
 担当理事 志田 正典

◆糖尿病の新診断基準にヘモグロビン A_{1c} が追加されました。

●糖尿病の臨床診断フロー図（新診断基準） 運用開始日：2010 年 7 月 1 日



日本糖尿病学会の HP に掲載の「糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告」より引用

◆HbA_{1c} 国際標準化への対応

- ①測定値：新規 HbA_{1c} 値（NGSP 相当値） = JDS 値+0.4%
- ②項目名：HbA_{1c}（従来の項目表記名と変更なし）
- ③運用開始時期
 - ・英文原著文献および国際学会の発表での使用：2010 年 7 月 1 日より
 - ・日常臨床・検診・健康診断での使用：未定

以上が日本糖尿病学会から報告されており、会員の医療機関でも日常診療への応用には、積極的な対応や慎重な態度を取られているものと考えます。

当センターでは、健診結果との兼ね合いもあり、臨床と健診データでの混乱を最小限にしたいと慎重対応を考えております。当分の間、現状の検査結果(JDS 値)による報告を行い、今後、学会から発表される変更期日より、NGSP 相当値(JDS 値+0.4%)に切り替えたいと考えております。